せいしんかい報

2015年１月１日　第103号

注目記事

◆１～２ページ◆
年頭の挨拶

救護施設やしおみ荘
〒972-0161 福島県いわき市遠野町上遠野字堀切27
☎(0246) ８９－３３３３　FAX(0246) ８９－３３３４

グループホーム　レジデンスなこそ
メゾン・ド・あたご、メゾン・ド・ほりきり、コーポおかおな

指定相談事業・地域生活相談室せんとらる
〒979-0145 福島県いわき市小名浜岡小名４－３－１
☎(0246) ３８－３５２０　FAX(0246) ３８－３５２１

障がい者支援施設ふじみの園・ショートステイほっと
〒972-0252 福島県いわき市遠野町上根本字白坂384-1
☎(0246) ８９－３４００　FAX(0246) ８９－３４５４

虹のかけはし
〒971-8101 福島県いわき市小名浜丹波沼61-1
☎(0246) ７３－０１１１　FAX(0246) ７３－０１１２

ワークセンターしおさい
〒971-8161 福島県いわき市小名浜諏訪町1-10
☎(0246) ７３－２０７７　FAX(0246) ７３－２０７８

手打ちうどん　天真庵
〒974-8212 福島県いわき市東田町2-11-7
☎・FAX(0246) ７７－２０３３

ヘルパーステーションあくてぃぶ
〒979-0145 福島県いわき市勿来町四沢清水17-1
☎(0246) ６５－５７００　FAX(0246) ６５－５７００

障害児通所支援ちゃーむ・地域生活支援事業ウイズ
〒971-8166 福島県いわき市小名浜愛宕上13-23
☎(0246) ７３－２０３３　FAX(0246) ７３－２０３４

障害児通所支援第２ちゃーむ
〒973-8409 福島県いわき市内郷御台境町鶴巻45-2
☎(0246) ８４－６８８２　FAX(0246) ８４－６８８３

年頭にあたり　社会福祉法人　誠心会　理事長　松﨑 有一

謹んで、新春のお慶びを申しあげます。

新年を迎えるに当たり、昨年の国内外の動向を顧みますと、国外では、ロシアが「クリミア共和国」編入問題をはじめ、韓国では旅客船「セウォル号」が沈没。さらに、エボラ出血熱でＷＨＯが緊急宣言。一方ではノーベル平和賞にパキスタンのマララさんらが受賞した。アメリカでは、中間選挙が行われたがオバマ政権与党の民主党が大敗した。

国内では、消費税８％がスタートし、さらに集団的自衛権を限定容認、政府が新見解を発表した。また、「危険ドラッグ」による事故の多発や、御嶽山噴火により死者57名、行方不明者６名と、痛ましい事故があった。一方、衆議院選挙があり、自民党圧倒勝利等の出来事があった。

福祉領域においては、社会福祉法人改革が議論の俎上に上がってきた。それは、公益性の問題であり、議論の中で公益性をどの様に担保するかであった。その結果、公益性の要素を、「サービスの質」「平等性」「社会貢献」「合規制」などに集約されると言われている。いずれにしても、透明性の確保が求められている。このように改革が、社会福祉事業には求められているのである。

さらに、本年は介護報酬や障害福祉の報酬改定の時期であり、今月の七日より始まる予算折衝の動きから目を離すことができないような新年の始まりである。

この様な動向でも、法人は維持発展をとげなければなりません。法人役職員一同一丸となって、いわき市の障害福祉を支えていきたい所存ですので、今後とも多くの方のご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申しあげまして年頭の挨拶に代えさせて頂きます。

新年を迎え新たな気持ちで　救護施設やしおみ荘　施設長　紺野 健一郎

謹んで新春のご祝辞を申し上げます。

本年は、救護施設やしおみ荘の開所35周年にあたります。

社会福祉法人誠心会の経営理念でもある、地域に信頼され・地域に愛され・地域と共に進化し・サービス利用者に安心・安全・生きがい等を提供してまいりました。

これもひとえに、地域住民、各関係機関等の皆様の御理解と御協力があったからこそ、継続できたものと深く感謝申し上げます。

現在、救護施設運営面で求められているのは、福祉ニーズの多様化により、よりきめ細かな運営推進であります。

近年の経済雇用情勢の悪化に伴い、生活保護受給者及び経済的困窮者が急増しており、救護施設の機能強化をより一層図ることが急務であり、時代的要請にもなっております。

法人理念にもありますように、地域との共生が救護施設にも強く求められ、今まで以上の地域貢献事業を展開しなければ、救護施設の存在意義がなくなるとの危機感を持っており、救護施設の使命も発信していかなければならないと思っております。

これからは救護施設の本体業務のみならず、あらゆる生活困窮者の居場所としての機能発揮、生活困窮者等に対する総合相談等の事業展開が必要になってきており、国からも社会福祉法人制度の見直し、地域における公益的な活動の推進取組等が求められております。

救護施設の制度化されている事業以外を推進強化するためには、地域の皆様、関係機関との連携強化がなくては実現できないことも踏まえ、今年も職員一同気を引き締め、新たな気持ちで施設業務を進めていく努力をしていくつもりであります。

更なるご理解の程、宜しくお願い致します。

皆様方にとりましても、健康で幸多い年となりますようお祈り申し上げ、年頭の挨拶とさせて頂きます。

2015年　新年のごあいさつ

就労継続支援B型 虹のかけはし

管理者　永沼　憲一

利用者様、ご家族様、誠心会の皆様、そして地域の皆様、あけましておめでとうございます。皆様と共に、今年も無事に新年を迎えられましたこと、大変うれしく、またありがたく感じております。

震災後、虹のかけはし本体が小名浜に移転してから、早４年目になりますが、皆様のご協力の下、ここまで進んで来れたこと、深く感謝申し上げます。

さて、当事業所の利用者様には、ここでの就労の継続を希望する方から、チャンスがあれば一般就労に移行したい方まで、さまざまなニーズをもってご利用いただいております。いつの時代にも、利用者様のニーズを尊重する事こそ大変重要と考えております。

昨年は希望がかなって一般就労に移行できた方が数名いらっしゃいましたが、一般就労に限らずとも、まずは利用者様のニーズにかなう支援が大切と考えております。

スタッフ一同、まだまだ力不足ではありますが、今年もはりきって支援にあたってまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

ヘルパーステーション あくてぃぶ

管理者　鈴木　美智

新年明けましておめでとうございます。

昨年中は、大変お世話になり有難うございました。皆様のご健勝とご多幸を心よりお祈りいたします。

あなたに会えてよかったと言われる事業所を目指し、ヘルパー一同丁寧な仕事を心掛け皆が笑顔になれる１年にしたいと思います。

本年も、皆様ご指導ご鞭撻の程、よろしくお願い申し上げます。

障がい児通所支援 ちゃーむ

管理者　千葉　彩織

謹んで新春のご祝辞を申し上げます。

早いもので、高校生が卒業して別れがあり、新利用者が入所して出会いあっという間の一年でしたが、とても充実した日々でした。

今年も、色々な出会いを大切にしながら、子供達と一緒に体験し成長していきたいと思っております。

職員一同気を引き締め、子供達の笑顔でいっぱいになるような施設を目指していきたいと思います。

今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い致します。

皆様方にとりましても、健康で幸多い年となりますようお祈り申し上げ、年頭の挨拶とさせて頂きます。

障がい児通所支援 第２ちゃーむ

管理者　小宅　幸恵

新年あけましておめでとうございます。今年も、ちゃーむの名前にふさわしく利用者の皆様、地域の皆様に愛され支えられて新しい年を迎えることができたことを心から嬉しく思います。

今年も、子ども達が楽しいと思えるような環境作りをし、自信を持って活動できるよう、一人一人が持っている力を十分引き出せるよう支援していきたいと思います。

また、ライフステージに応じた一貫した支援ができるよう、事業所、学校、家庭と連携し、地域の中で信頼できる事業所として機能できるよう職員一同努力してまいりたいと思います。本年もよろしくお願い致します。

介護サービス包括型共同生活援助

管理者　小野　るみ

新年あけましておめでとうございます。

旧年中は大変お世話になりました。

早いもので、東日本大震災からまもなく４年が経とうとしています。風化されつつある福島に生きて、今年も利用者が元気に楽しく生活できますよう利用者の主体性を尊重し、支援員・世話人が一丸となって支援させていただく所存でございますので、変わらぬご理解、ご厚情のほどを宜しくお願い申し上げます。

特定相談支援･障害児相談支援 せんとらる

管理者　渡辺 誠二郎

新年あけましておめでとうございます。勿来から小名浜に事務所を移転し、２年がたちました。おかげさまで、小名浜地区の相談支援事業所として、障がいをお持ちのご本人、ご家族等からのご相談も年々増えてきておりまして、地域に根差した相談支援事業所として定着してきているのではないかと感じております。

当事業所においては、現在、相談支援専門員３名、相談支援補助員１名の４名体勢で日々の相談に応じております。今後とも、相談者に満足していただける支援を行っていきたいと思います。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

公益財団法人中央競馬馬主社会福祉財団助成金ありがとうございました 第２ちゃーむ

この度、一般社団法人福島馬主協会様の推薦を頂き公益財団法人中央競馬馬主社会福祉財団より第２ちゃーむの平成26年度施設整備等助成事業として100万円の助成を頂きました。総事業費135万円でスヌーズレン室の機器整備を行いました。子供達は、キラキラと光る機材に触れたり、優しい音楽に耳をかたむけると、穏やかな表情をうかべていました。特にバブルユニットという、振動や音を感じることができる機材が人気で、チューブから聞こえる音に耳を傾けたり、抱きついたりしていました。「きれいだね」「また入りたい」との声も聞かれ、早くも子供達のお気に入りの空間となっています。

ふじみの森フェスティバル　ふじみの園

９月27日（土）、天候に恵まれた青空のもと、第23回ふじみの森フェスティバルが開催されました。当日は菊池章夫さん、ご当地アイドルベイビーティアラさん、ラテンダンスのLDRさん、よさこいの海神乱舞さん、ゴスペルのラブフィーさん、エイサーのいわき美らてぃーださん、勿来高校フラダンス愛好会のみなさんと言った豪華なゲストをお招きし、歌や踊りを披露して頂きました。会場は終始大盛り上がりで、利用者や来場された皆さんから拍手や歓声が響きました。また、会場内に設置されていた模擬店やゲームコーナーも大人気で、あちこちから笑顔が見られました。例年になく盛りだくさんの内容となり、「来年も楽しみだ」という声が聞かれました。フェスティバルに参加して頂いた皆様、また運営に協力して下さった皆様のおかげで素晴らしいフェスティバルになりました。心より御礼申し上げます。

植田歩行者天国　天真庵

10月13日（月）、植田歩行者天国に出店しました。

当日、寒い日ではあったものの多くのお客様に来て頂き、利用者の皆さまにも元気よく笑顔で接客していました。

お客様から声を掛けて頂き、大変うれしく思いました。

これからも利用者、保護者、職員が力を合わせて頑張っていきたいと思います。

東日本国際大学文化祭製麺販売　しおさい

10月26日（日）は東日本国際大学にて文化祭が開催され、しおさいではうどんとラーメン、虹のかけはしのパンを販売しました。うどんはパック詰めにされたうどん、ラーメンはその場で食べられるよう調理しての販売でした。

ラーメンはその場ですぐに食べられるとのことで大繁盛でした。パック詰めされたうどんは東日本国際大学の学生の皆さんが意欲的に声掛けをして頂き、全てのうどんを完売することが出来ました。利用者は、始めこそ消極的であったものの次第に自ら呼び込みも出来るようになりました。また、当日は快晴で気持ち良く、しっかり仕事をしながら文化祭の雰囲気も楽しめている様子でした。

学生の皆さんから「また一緒にやりましょう。」と言って頂き好評だったラーメンに更に工夫を加え、改善点を見直し、次年度に活かせるように今後も日々の作業を頑張っていくとの意気込みが利用者から聞かれていました。

秋の健康ウォーキング

やしおみ荘　10月27日（月）、近くの八幡神社までウォーキングをしました。春のウォーキングはあいにくの雨で中止となってしまいましたが、今回は見事に秋晴れに恵まれ、皆さん朝から楽しみになされていました。

ウォーキングをしていると、「今回は晴れたね」、「ここに柿がなっている」等、秋の訪れを感じる会話も聞こえてきました。職員に色付いた葉っぱを微笑みながら指さして教えてくれる方もいました。

神社に着くと神社にお参りする方や、周辺を散策したり、座ってあたりの紅葉を眺めたりと各々に楽しみながら過ごされていました。お菓子と飲み物で休憩し、帰りは手を繋いで一緒に歩いていると童謡を口ずさむ方、やや遅れがちの方に励ましている方もいました。日差しも心地よく、秋の季節をより感じられた一日になりました。

ふじみの園　11月７日（金）悪天候が心配されましたが天候に恵まれ、無事にウォーキングを行うことができました。コースはふじみの園からゴールの入遠野にあるトロン温泉までの5.5㎞、一人ひとりの体調に合わせて歩ける距離を歩いてもらいました。田畑や川沿いの景色を眺め、季節の移り変わりを感じながら歩きました。ゴールで待っていたのはカレーライスにチキンカツ、会話が止まる程夢中で食べていました。そして食事の後は、ゆっくりと温泉に浸かり、疲れた足腰を癒しました。「温泉気持ちよかった」「来年も頑張る」とみなさん満面の笑みでした。

忘年会　やしおみ荘

12月17日（水）、体育館にて忘年会を開きました。当日は朝から気温が低く、いわき市内としては珍しく雪も降っていました。しかしそんなことを利用者は気にする様子もなく、カラオケが始まるとあちこちから曲のリクエストが出ていました。昭和の名曲からこぶしの効いた演歌、J-POPまで、多くの利用者が歌声を披露してくれました。あっという間に楽しい時間が過ぎてしまい、歌えなかった利用者もいましたが、今年一年を振り返ると楽しかったこと・心に残ることなど、それぞれにあったようです。

一年間お疲れ様でした、そして来年も良き年となりますように…。

もちつき大会　ふじみの園

12月26日（金）、ちゃーむ・第２ちゃーむの子ども達を招いてもちつき大会を行いました。千本杵を使い、ふじみ利用者、ちゃーむ・第２ちゃーむの子ども達が力を合わせて餅をつきました。「がんばれ」と周りからの声援もあり、張り切って杵を下ろしていました。お昼にはつきたての餅をあんこやきな粉、胡麻と絡めて頂きました。つきたてのお餅はとてもやわらかく、皆笑顔で頬張っていました。

タクシーの日「アクアマリンふくしま」へのご招待　第２ちゃーむ

タクシーの日、本来は８月５日ですが、休校を利用して10月27日（月）に、記念行事としていわきタクシー協会様より、「アクアマリンふくしま」へご招待頂きました。

秋晴れの下タクシーに乗り、車窓からの景色を見ながらアクアマリンへ出かけました。

タクシー協会の方々と一緒に、生き物の水槽を見たり、ヒトデやナマコなどに触れ、館内を歩きながら会話も弾みました。

また、昼食にはお子様ランチを戴き、思わぬご馳走に食欲も増し各々笑顔で食べていました。

初対面にも関わらず、子ども達一人ひとりの要望に答えながら対応して頂き、思い出多い一日を過ごす事ができました。

ありがとうございました。

クリスマス会

やしおみ荘

１２月２４日(水)、やしおみ荘体育館にてクリスマス会を行ないました。利用者の方には、サンタの衣装を着て頂いたり、帽子などをかぶって参加して頂きました。今年は利用者の方に司会進行を行って頂きました。各棟の利用者での出し物では､「いい日旅立ち」「つぐない」「ブルーライト・ヨコハマ」「川の流れのように」の歌を披露して頂きました。利用者にマイクを渡すと照れてしまう方もいましたが、前に出て曲に合わせて踊る方もいました。職員の出し物では「赤鼻のトナカイ」を歌い、利用者も一緒に歌ってくれました。終始笑顔のあふれる、楽しいクリスマス会となりました。

ふじみの園

12月23日(火)クリスマス会が「やまたまや」にて開かれ、利用者、保護者、職員合わせ93名が参加しました。利用者代表による乾杯の後は、９月に行われたふじみの森フェスティバルにも参加して頂いたご当地アイドルベイビーティアラさんによるライブが行われました。クリスマスをイメージした衣装で、12月末に発売されるオリジナル曲から、皆が知っているクリスマスソングまで、多くの歌を披露して頂きました。ライブの後は、利用者一人ひとりにプレゼントを配って頂きました。かわいいサンタさんからプレゼントを貰った利用者は、「ありがとう」と笑顔で感謝の言葉を伝えていました。会も進み、いよいよ待ちに待った菊池章夫さんによるライブが始まると、菊池さんの大ファンである多くの利用者がステージの前にやって来て、音楽に合わせ体を動かしながら歌に聴き入っていました。素敵な歌を聴きながら美味しい料理に舌鼓し、楽しい時間を過ごす事ができ大満足の一日となりました。

やしおみ荘へいこう　やしおみ荘

１１月２６日(水)、12月３日(水)の２日間、上遠野小学校の生徒32名と先生が来荘し、利用者との交流を図りました。

１日目は、施設長より福祉に関する講話を行ない、上遠野小学校の生徒の皆さんからは、楽器を演奏して頂きました。ピアニカやリコーダーの演奏に合わせながら利用者も自然と手拍子をとっており、中には涙目になっている方もいました。

２日目は、２班に分かれてそれぞれ交流を図りました。子どもたちがお茶の作法を学ぶ班では､お茶を頂く・点てる等の作法を説明すると慣れない作法に戸惑う姿も見られました。しかしお茶を点てる際には、一つ一つの作法に気を付けており、自分の点てたお茶を頂くと、苦さを感じながらも一段とおいしく感じたようです。

もう一班は12月にちなんでクリスマスリースを作りました。フェルト・オーナメント・シールでデコレーションし、白の泡スプレーで雪を降らせるなど、工夫して製作していました。難しい部分があるとお互いに協力しながら進めており、参加した人数分の素敵な作品が出来上がりました。

利用者の中には、はじめは照れてなかなか話す事ができていない方もいましたが、各班での交流を通して会話を楽しみ、思い出深い一場面となりました。

全国救護施設研究協議大会に参加して　やしおみ荘

施設長　紺野健一郎
蛭田順子・遠藤史穂・三浦勇紀・緑川俊之

10月23日(木)～24日(金)、愛知県名古屋市にて全国救護施設研究協議大会が開催されました。全国から約580名が参加し、「救護施設が取り組む生活困窮者支援の推進に向けて」をテーマに全体会・分科会が行われました。

全体会では、生活保護世帯の増加と生活保護の見直しについてや現在、救護施設が置かれている状況と社会福祉法人として求められている事、社会福祉法人として取り組むべき課題についての講話を傾聴してきました。どの内容も救護施設として考えさせられるものばかりでした。分科会では、第１～第５分科会に分かれ、分科会ごとに設けられたテーマのもと、各施設の取り組みについての報告を受けました。また、今回は当法人が意見発表の機会を頂き、「利用者主体の個別支援の取り組み」について述べさせて頂きました。皆さんに伝える側となる事で、様々な角度から考え、職員としての在り方を再確認することが出来ました。今回学んだことを今後の支援に活かしていけるよう、努めていきたいと思います。

福島県手をつなぐ親の会連合福祉大会での販売　虹のかけはし

10月25日（土）スパリゾートハワイアンズ３Ｆコンベンションホールにて福島県手をつなぐ親の会福祉大会が開かれ、そこにブースを設けて頂き、パン、シュークリーム、うどん、クッキーなどの販売を致しました。

販売はセミナー前、中間での休憩タイム、セミナー終了後と時間が限られていましたが、参加された方々がとても関心を寄せて下さり、販売品の質問を受け答えしながら順調に販売が進み、殆どの商品を完売することが出来ました。

中通り会津地方より参加された方々にもお買い上げ頂いたので、遠方にも少しずつ事業所の名前が浸透していければと願いながら一日が無事終わりました。

地域の交流会に招かれました　せんとらる

11月12日（水）、小名浜地区保健福祉センター会議室で第２回小名浜地区サービス提供責任者交流会があり、「障害福祉サービスの仕組みを学ぶ」～相談支援事業所の役割とは～と題して、時間をいただき説明させていただきました。参加された居宅介護事業所は高齢者福祉に関わる事業所が多く、障害福祉サービスについては関わりが少ない事業所がほとんどでした。

説明の内容は、①当法人について②せんとらるの業務内容③委託相談支援とは？④計画相談とは？という内容で行い、市内の実情も合わせて、お話しさせていただきました。こういった場での説明は不慣れなこともあり、自分たちも緊張しましたが、障害福祉サービスを知っていただく貴重な時間をいただき、各事業所と顔の見える関係性を築くことができる良い機会を与えていただきました。今後も地域の相談窓口として、より多くの方々に障害福祉について知っていただけるように活動していきたいと思います。

権利擁護委員会　第三者との懇談会の報告

11月25日（火）にふじみの園、やしおみ荘、天真庵にて、第三者委員と各施設利用者との懇談会が実施されました。第三者委員の皆様のお陰で、普段直接職員には言いづらかった苦情や要望を汲み取って頂きました。その後、天真庵にて法人内権利擁護委員より第三者委員の皆様に４月～９月までの間に受け付けた苦情についての報告会を行い、第三者委員の皆様より利用者目線での意見や指摘を頂く事ができました。職員の対応が十分と思っていた事例でも、利用者からみれば足りない部分があったのではないかと、職員から見る目線ではなく当事者の気持ちに立ち返り苦情を汲み取る事の大事さを再度認識する事ができました。また、委員の鎌田様よりジェンダーの問題や昨今の福祉に関する学会等で発表された情報や援助技術に有用な書籍等の情報等を教えて頂きました。虐待防止法、権利条約への批准による意思決定支援の明文化と、障がい者の権利擁護の為に法整備が進む中、職員は真摯に苦情に対応する事が求められます。当法人の理事長の言葉「苦情は宝だ」との指導を念頭に置き、ますますの利用者支援の充実と、より良いサービスの提供を意識し励まなければならない事を再度認識する事のできた有意義な懇談会となりました。

寄付を頂いた方

佐藤理容所 様より寄附を頂きました。ありがとうございました。
一般財団法人 東北地方郵便局長協会様よりおせち重箱の寄附がありました。
メゾン・ド・あたご、メゾン・ド・ほりきり、コーポおかおなで生活している利用者も、重箱のおせち料理を美味しく頂き、楽しいお正月を過ごすことができました。
ありがとうございました。

編集後記

寒さが一層厳しくなりましたね。ついつい暖かい食べ物に手が伸びてしまいますが、暖かいお部屋でアイスクリームを食べるのはいかがでしょうか？おすすめの一品です。皆さん、風邪には気を付けて下さいね。

※本会報は、本人同意の基に写真を掲載しております。